

難聴と補聴器に関するアンケート

結果概要

日本共産党都議団が実施した「難聴と補聴器に関するアンケート」に、527人から回答がありました。回答があった地域は、練馬区85、世田谷区32、杉並区15、江東区24、新宿区20、目黒区10、板橋区4、豊島区22、大田区23、江戸川区3、文京区13、品川区1、東大和市2、武蔵村山市11、東村山市9、東久留米市25、清瀬市23、八王子市42、立川市13、日野市5、町田市92、WEB38、その他15です。結果の概要は以下の通りです。

5月8日から6月25日まで実施

Q1

ご自身やご家族、身近な方で、
耳の遠い方・難聴の方はいますか。

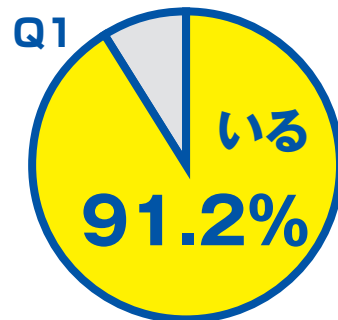
いると回答した方の割合は91.2%です。

Q2

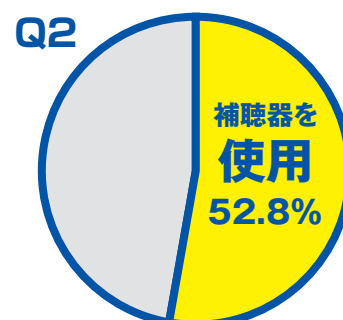
Q1で「いる」方にお聞きします。
その方は、補聴器を使っていますか。

補聴器を使用していると回答した方の割合は
52.8%です。

Q1



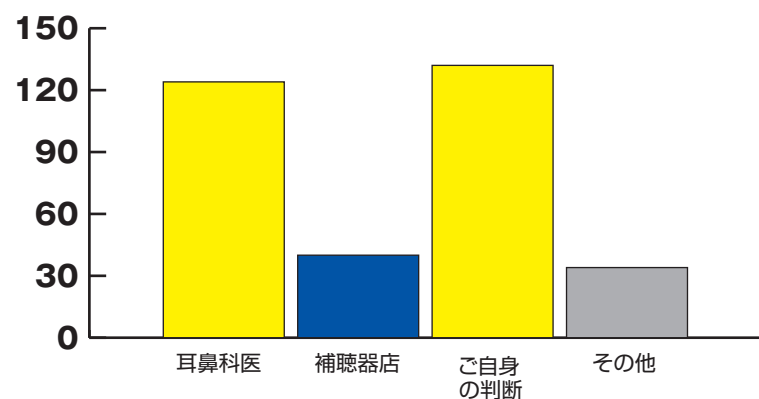
Q2



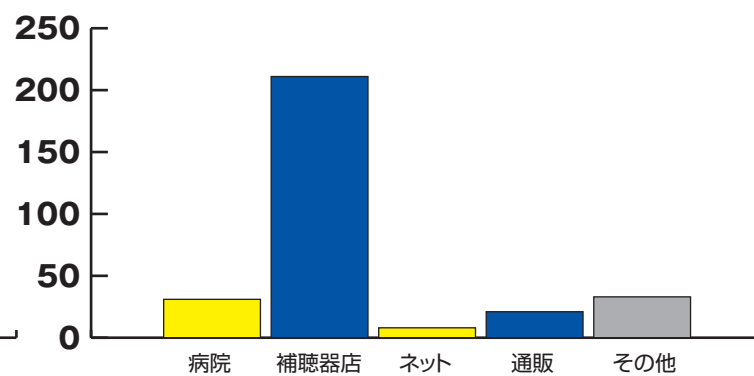
Q3

ご自身やご家族が補聴器を購入したことのある方にお伺いします。

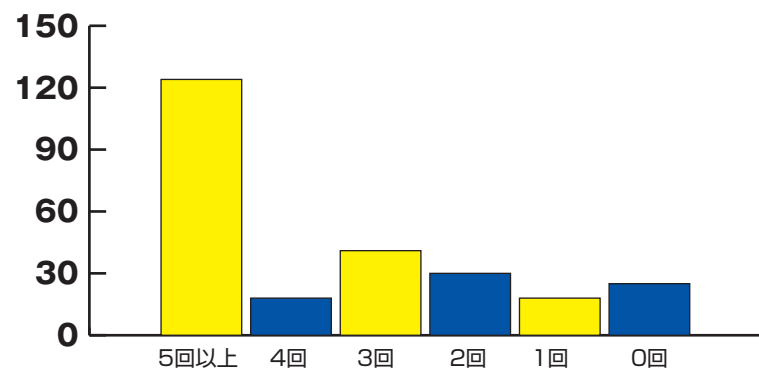
Q3(1) 誰から購入を勧められましたか。



Q3(2) どこで購入しましたか。



Q3(3) 補聴器の調整は行いましたか。



(1) 購入を決めた理由のトップが自分の判断となっており、直接補聴器を売っている店に行き購入しているケースが少なくない。

(2) 補聴器店での購入が多いが、これにはデパートや眼鏡屋など補聴器を売っている店で購入したという場合も含まれている。

(3) 5回以上調整したという回答がもっとも多いが、補聴器専門店での調整（フィッティング）でないもの、ことを答えている方もいる。また、0～2回という回答が一定数あり、本人の聞こえに合わせた調整が行われているとは言い難いケースも散見された。

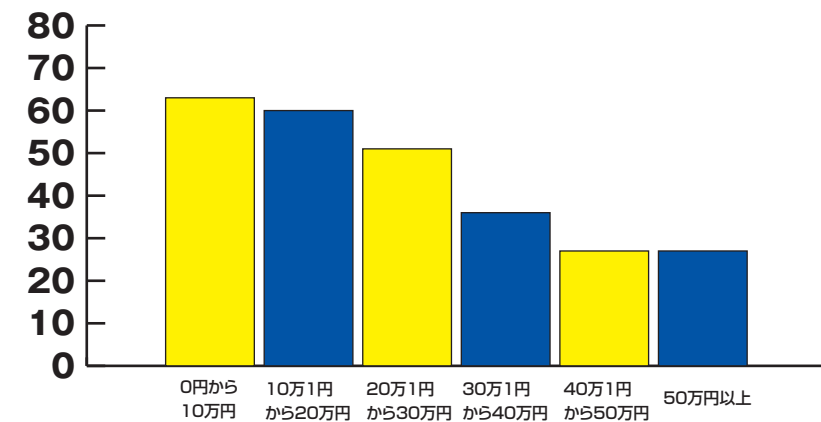
Q3(4) 購入金額はどのくらいでしたか。

平均購入金額は

27万659円

購入金額の中には、両耳購入と片耳購入が入っており、両耳をそろえて購入した場合には金額が高くなる可能性がある。傾向として通信販売やインターネットの購入の場合購入金額が低い。

もっとも低い購入金額は、区の支給事業を利用した0円。
もっとも高い購入金額は、100万円。



Q3(5) 使用頻度はどのくらいですか。

平均使用時間は

9時間52分

今は使っていない

50人

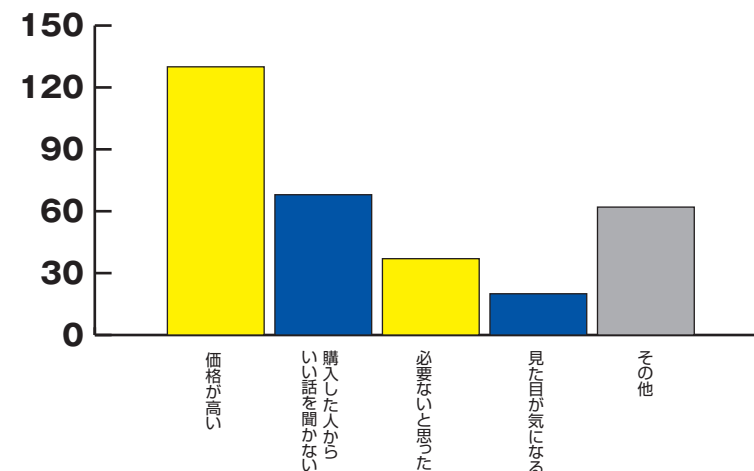
この項目に回答があった人の20.5%

解答欄に直接書かれていないが、使っていないケースは、この数よりも多いことが想定される。

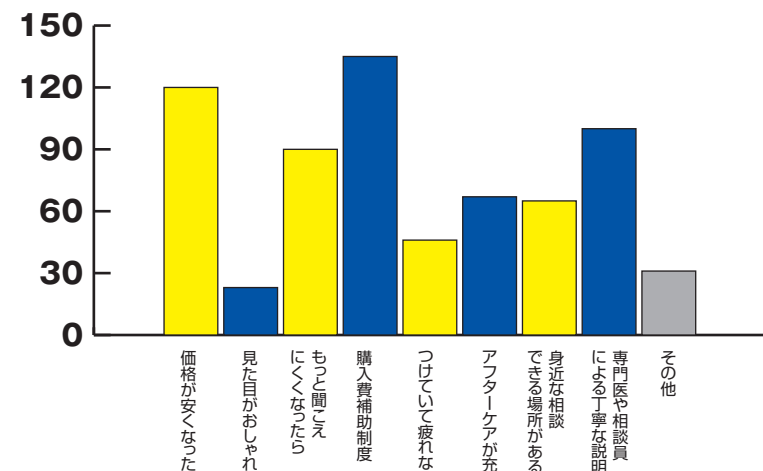
Q4

ご自身やご家族が、補聴器を購入しなかった方にお伺いします。（複数回答可）

Q4(1) 購入しなかった理由はなんですか。



Q4(2) 補聴器を使用してみようと思う動機になるものはなんですか



Q5

ご自身やご家族、身近な方で、難聴や補聴器についてお困りごとを教えてください。
その他、ご自由に難聴や補聴器についてご意見をお聞かせください。（抜粋）

◆聴こえず、適当に相槌を打っていることが、時々ある。
◆人の言っていることがわからないために、誤解を生じる。電話はきこえない。すべてにつらい。
◆耳が聞こえないのはかなり悲しいです。大切な事は、何回も聞くなりして、対応していますが、会合などは、つい控えてしまいます。

◆本当は両耳とも使用した方がよいと言われたが、あまりに高額なので片耳だけにしました。
◆聞き返しが多いです。トンチンカンの返事をすることもあります。TVをみても理解できないことがあります。この生活から脱却したいです。
◆話し合いに参加したくない。